

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

香南市赤岡町は、幕末の絵師・金蔵（通称・絵金）によって描かれた芝居絵屏風23点が現存し、これを夏祭りの夜に町家等の軒下に飾るという独特の文化を継承してきた。平成初期頃からは、交通網や社会変化から商店街の衰退、人口減少などの地域課題の解決に向けたまちづくりに取り組んできた。その成果として、芝居絵に描かれた歌舞伎を地域で演じる土佐絵金歌舞伎伝承会の発足や、弁天座の開館、芝居絵屏風を適切に保管し観光施設として平常時も見ることのできる絵金蔵が開館した。さらに現在は、描かれて約150年が経過する芝居絵の保存修理が進んでいる。このような地域固有の文化を生かしたまちづくりが、地域の担い手育成、商店街の活性化等につながっている。

一方で、町内に現存していた町家等の歴史的建造物は、空き家の増加に伴って解体が進み、また高齢化による家屋の維持などの問題が生じている。この課題に対し、平成26年に任意団体を立ち上げ、地域資源の保全・活用に関する活動を行ってきた。活動を続ける中で、活動拠点である「赤れんが商家」の土地・建物を取得し管理運営を持続的なものとするとともに、さらなる町家等の保存・活用のための活動基盤を強化する必要があることから、法人格の取得を目指すこととなった。

そこで本団体は、赤岡町の特色である町家等の軒下に芝居絵屏風を飾る独特の文化を未来に継承し、絵金を核とした赤岡のまちづくりの推進に取り組むことを目的とした特定非営利活動法人すてきなまち・赤岡プロジェクトを設立する。

2 申請に至るまでの経過

平成25年2月 絵金の芝居絵屏風が飾られる町家等の一つであり地域のシンボルでもある初代赤岡村長の旧邸宅「赤れんが商家」の解体工事が始まる
地域住民・市職員有志の声により主屋・蔵・塀の解体を留まる。

平成26年12月 地域の取り組みをサポートする形で、高知工業高等専門学校北山研究室、（公社）高知県建築士会を主体とした任意団体「絵金のまち・赤岡町家再生活用プロジェクト」が発足。「赤れんが商家」の保全・活用に取り組むとともに、絵金文化、伝統木造文化の情報発信を行う。

平成29年6月 活動母体を地域住民および各団体を中心とした組織とするため、「すてきなまち・赤岡プロジェクト」に再編

令和2年6月 「すてきなまち・赤岡プロジェクト」令和2年度第1回役員会において、所有者の高齢化に伴う維持の困難から土地の買取りが必要であり、土地の買い取りに向けた組織体制の検討、法人化、継続的な地域のまちづくり運営を見据えた体制づくりの検討を行うことについて承認、設立の準備に入る。

令和3年7月14日

特定非営利活動法人すてきなまち・赤岡プロジェクト
設立代表者 住所又は居所 高知県香南市赤岡町339番地
氏 名 濱田 義隆 ㊞